

特許法人太平洋のニュースレターに掲載された内容及び意見は、一般的な情報提供を目的に発行されたものであり、特許法人太平洋の公式的見解や如何なる具体的事案に関する法律的意见を差し上げるものではないことをご了承ください。

更なる詳細に関するお問い合わせは、以下の連絡先までご連絡ください。

T +02 2188 5454
F +02 2188 5455
E ip@BKL.co.kr

韓国特許出願動向

I. 2017年度に新たに変わる制度

2017年度には特許制度の多くの部分に変化があり、次のような内容が含まれます。

1. 特許審査の請求期間の短縮（現行出願日から5年→3年）

特許出願された発明の迅速な権利確定のため、特許審査の請求期間が特許出願日から3年に短縮されます。[2017年3月に施行され、2017.3.1.以降に**出願**(PCTの場合は国際出願)された特許に対して適用されます]。

2. 特許取消申請制度の新設

不実特許の予防のため、国民の誰もが特許権設定登録日から登録公告日後6ヶ月以内に特許取消申請が可能となるように改善されました。[2017年3月に施行され、2017.3.1.以降に設定**登録**された特許に対して適用されます]。

II. 韓国国内の最近の出願動向

1. 権利別の出願現況

特許、実用新案、デザイン、商標が全て前年対比 2.3%、10.8%、3.4%、2.1% 減少の 208,830 件、7,767 件、65,643 件、181,606 件が出願され、2016 年の産業財産権の出願は去る 2010 年以降 6 年ぶりに減少しました。

< 権利別出願件数(5年) >

単位: 件、%

権利区分	2012	2013	2014	2015	2016 (増減率)
特許	188,915	204,589	210,292	213,694	208,830 (▽ 2.3)
実用新案	12,424	10,968	9,184	8,711	7,767 (▽ 10.8)
デザイン	63,135	66,940	64,413	67,954	65,643 (▽ 3.4)
商標	142,176	159,217	160,663	185,443	181,606 (▽ 2.1)
合計	406,650	441,714	444,552	475,802	463,846 (▽ 2.5)

* 国際特許・デザイン・商標の出願件数を含む

2. 出願人類型別の出願現況

特許出願を出願人の類型別で見ると、中小企業、公共及び教育部門が増加傾向(中小企業の最近 5 年平均 7.4%)をみせた反面、残り的大企業等は全て減少しました。特に、2014 年まで最も多くの出願を記録した大企業は、2015 年に次ぐ減少傾向で主要出願人の類型のうち最も低いパーセントを占めました。

< 出願人の類型別(4大) 特許出願件数 >

単位: 件、%

権利区分	2012	2013	2014	2015	2016 (増減率)
大企業	42,115	48,045	45,986	42,649	38,800 (▽ 9.0)
中小企業	36,045	39,527	41,658	45,419	46,813 (▽ 3.1)
個人出願	35,645	37,358	38,047	40,916	39,936 (▽ 2.4)
外国人	44,301	44,611	46,219	46,421	45,403 (▽ 2.2)

3. 特許出願現況

大企業の特許出願が減る傾向にも、多出願企業順位をみると、依然としてサムスン電子の特許出願が最も多く、現代自動車、LG電子がその後に続きました。外国企業はクアルコム、インテル、ファーウェイの順でした。

(特許出願現況 2016)

順位	多出願人	出願件数
1	サムスン電子	5,630 (6,725)
2	現代自動車	3,791 (3,713)
3	LG電子	3,764 (3,452)
4	LG化学	3,343 (3,333)
5	韓国電子通信研救援	2,308 (2,280)
6	サムスンディスプレイ	2,020 (2,827)
7	LGディスプレイ	2,007 (2,357)
8	クアルコム	1,631 (1,505)
9	ポスコ	1,589 (1,575)
10	LGイノテック	1,170 (1,148)

(特許多出願外国企業 2016)

順位	外国企業	出願件数
1	クアルコム	1,631 (1,505)
2	インテル	771 (685)
3	ファーウェイ	511 (300)
4	トヨタ	465 (623)
5	マイクロソフト	414 (277)
6	キヤノン	403 (414)
7	東京エレクトロン	394 (461)
8	ソニー	357 (271)
9	スリーエム	353 (361)
10	BASF	351 (334)

4. 技術分類別特許出願現況

主要技術分類別で特許出願をみてみると、電気工学 34.3%、化学 21.0%、機械工学 20.6%、機器 13.1%、その他 11.0% の順で出願されており、前年と類似の様相を示しました。

▲大企業は、半導体製造及び処理処置(3,169件)、燃料電池(バッテリー)関連技術(1,978件) ▲中小企業は、電子商取引、金融及び決裁方式(3,693件)、データ処理装置及び方法(1,438件) ▲外国人は、半導体製造及び処理処置(3,514件)、データ処理装置及び方法(2,026件)に関する特許出願が最も多くなされました。